

# 活動実施報告書

## 芝生

2023年度



### 1. 目的

芝生の緑の上で活動をし、心身の健康を促進及び幼稚園児たちにとって自然に触れるという豊かな成長の機会を提供する。

### 2. 対象、期間

全クラス：年長組（にじ、ほし）・年中組（いるか、ぺんぎん）・年少（ひよこ）

5月16日に植栽以後、年間を通じて。

### 3. 内容

5月16日に芝生を植え、その後育った芝生の上で、1年間かけっこや運動あそびなどレクリエーション活動を行った。また、青々とした芝生が茶色く変化する様子や、芝生に穴をあけると枯れてしまう様子を間近で観察した

### 4. 実施内容・成果

春に芝生を植えて育てた芝生の上でかけっこやレクリエーションを行ったことで、園児たちには多くの成果がある。まず、彼らは自然の中で運動することの楽しさと重要性を学んだ。芝生の上で走ることで体力や持久力が向上し、健康的な生活習慣を身につけた。また、芝生での活動は社交性や協力の精神を養い、他の子供たちとの関係を深める機会となった。幼稚園児たちにとって豊かな成長を促す活動となった。

## 芝生活動の様子



### 5. 学校関係者評価

子どもたちにとって、土が汚いものとは考えず、芝生の植栽を自ら行うことで土遊びが楽しいと感じるきっかけとなったようだった。芝生を植えた後に畑での活動を行なったことで、土への抵抗感が減ったように思える。子どもには芝生を育てるという概念がなかったが、芝生は育てないと育たないということ意識するようになったようだ。また、緑の芝生の上で体を動かすことは心身ともに健康を促進した。

# 活動実施報告書

## 畑

2023年度



### 1. 1. 目的

子どもたちに自然とのつながりを深め、食べ物の生産過程を体験することで、食育や環境教育を促進し、健康的な食習慣や食料の大切さを実感する。

### 2. 対象、期間

年長組（にじ、ほし）・年中組（いるか、ペンぎん）  
5月に植栽をし、一年間を通じて芝生の上で活動を図る。

### 3. 内容

種まきから収穫までの過程を通じて、食べ物がどのように生産されるかを学ぶ。また、食べ物の生産に関わる労力や時間を体験することで食料の大切さや資源の有限性を理解する。

### 4. 実施内容・成果

園児が一年間畑にこまめに通い、野菜の世話をし育て、最後にその野菜を食べることで得られる経験と成果は多岐にわたる。まず、子どもたちは植物の生長や発育についての理解を深めた。種から植物がどのように成長していくのかを観察し、自然の恵みのプロセスを学んだ。また、野菜を世話することで責任感や忍耐力が養われ、努力の成果を実感することができた。さらに、畑仕事を通じて協力やチームワークの大切さを学べたようだった。

最後に、自分たちの手で育てた野菜を収穫し、食べることで、食べ物の価値や栄養の大切さを体験し、健康的な食生活の重要性を理解することができた。このような経験を通じて、幼稚園児たちは自然とのつながりを感じ、貴重な成長の機会を得た。

## 畑活動の様子



### 5. 学校関係者評価

幼稚園児らが畑の作業を通じ、収穫のみならず種まきから間引き草取りなどの諸作業も行い、農業の苦労を実感することができた。自ら手を加えて育て上げた野菜を誇らしげに抱え、家族に自慢する姿が印象的であった。これらの経験が、彼らの野菜嫌いの改善に寄与したと感ぜられるほど、食の好みに変容をもたらした。加えて、子どもたちが野菜を残すことに抵抗を覚えるようになったことは、食に対する新たな理解と興味を示している。このような畑作業は、栄養観念や食習慣を育むばかりでなく、農業や食料生産に対する尊敬と理解を促進する優れた機会となった。

# 活動実施報告書

## 英語

2023年度



### 1. 1. 目的

外国人講師と幼稚園職員と一緒に、歌やゲームを通じて楽しく英語や異文化に触れ合うクラスを実施した。この活動は、単なる英語の学習ではなく、子どもたちが広い世界を知り、異なる文化に触れ、自分の視野を広げるきっかけを提供する内容で実施した。

### 2. 対象、期間

年長組（にじ、ほし）・年中組（いるか、ぺんぎん）  
一年間を通じて 週1回火曜日 1回 30分程度

### 3. 内容

1. Superkids language 絵カードを使って発音をする
2. ABC アルファベットで身近にある物の名前を発音や書き方を確認する
3. Monthly vocabulary 毎月の大変な言葉を歌う
4. Dancing 3 songs 曲に合わせてダンスを踊る
5. Story Time 絵本の読み聞かせ
6. Game if time allows グループになって物の種類やビンゴのゲームをする

#### ●年中組

通年：名前、年齢を言える。ABCの歌を歌えることを目指す。

- ・4月：挨拶・5月：天気、曜日・6月：身近な物の名前・7月：好きなもの・9月：ペット、動物
- ・10月：体、ハロウィン・11月：形・12月：おもちゃと物、クリスマス・1月：衛生、職業
- ・2-3月：乗り物

#### ●年長組

※ 年中でおこなった事をさらに発展させ視野を広げている。

- ・通年：気持ちを言える、伝える。アルファベットが読めることを目指す。
- ・4月：昆虫、天気、曜日・5月：幼稚園にある物・6月：果物、野菜・7月：遊具、場所
- ・9月：ペット、動物・10月：体、ハロウィン・11月：形
- ・12月：おもちゃと物、クリスマス・1月：衛生、職業・2-3月：乗り物

### 4. 実施内容・成果

年中組、年長組ともに全26回実施した。初めてネイティブの外国人講師と関わる子どももいたが、1年終わってみるとどの子どもも英語に自信がついた。またもっと英語を知りたいという声もあがり、初めての英語の導入に良いきっかけとなった。既に英語を知っている子どもにはゲームを通じて、英語を楽しむことができた。英語圏の文化を知ること、日本以外の国があるというワールドワイドな視点をもつきっかけとなった。



### 5. 学校関係者評価

- ・小学校の授業にも英語が導入されたので、幼稚園でも取り入れられていることはとても良い。英語ができる、できないではなく、外国人講師に教えてもらった経験自体が自信となる貴重な経験となった。
- ・ただの小学校の先取りというわけではなく、英語に親しむ、英語を好きになるという感じがして良い。
- ・子どもが英語を臆することなく使おうとしている姿勢が良い。
- ・英語だけでなく、英語圏の文化も知ることができることは貴重な経験である。

# 活動実施報告書

## リトミック



2023年度

### 1. 目的

プロの音楽講師を定期的に招き、ダルクローズ音楽教育法により、リズム遊びを通して、音楽に合わせて楽しく体を動かし、音楽の楽しさやリズム感覚を養うことを図る。

### 2. 対象、期間

年長組（にじ、ほし）・年中組（いるか、ぺんぎん）・年少（ひよこ）  
一年間を通じて 週1回木曜日 1回 30分程度

### 3. 内容

リトミック講師正田弥生による指導のもと、ピアノの音に合わせてその音色、自分の体の動きで音楽を楽しむ。カードを用いて音符を読む。調音をして、音感を鍛える。

○音楽とリズムに基づく動き:手拍子や足踏み、楽器の演奏など、音楽やリズムに合わせた身体を動かす。

○身体のコントロールと柔軟性:身体全体を使って様々な動きを行い、筋肉の発達や柔軟性を促進する。

○楽器の使用:手のり楽器や小道具を使って、音楽に触れることを通じて感覚を刺激する。

○歌やリトミック遊び:子供たちが楽しんで参加できる歌やゲームを通じて、楽しさや協力の概念を学ぶ。

○集団活動:グループでの活動を通じて、コミュニケーション能力や協力意識を養う。

### 4. 実施内容・成果

年少組、年中組、年長組の全クラスで年間31回実施した。

一年間のリトミックの取り組みの成果は、子どもたちの聴覚や表現力の向上、リズム感の向上が挙げられる。子どもたちは音に敏感に反応し、音楽の要素を理解し、体で表現する能力が向上した。また、長調や短調の区別、ダイナミクスやリズムの理解、音の高低や音符の認識、ビートの分割、音階や相対音感の発達も一部の子で見られた。一年間の取り組みを通じて、子供たちの音楽的な才能が着実に成長してみられた。

## リトミックの様子



### 5. 学校関係者評価

音楽に合わせて身体を動かすという時間を週に1回しっかりとって、全身運動ができたことは良かった。表現力の向上につながった点が良い。

また以下のような声が保護者から聞かれた点は評価に値する。

- ・いつのまにか音感が身に付いていた。
- ・リトミックの公開保育でとにかく楽しかった様子だった。